

感染症についてのお知らせ

墨田区保健所 保健予防課 感染症係

電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

令和7年
3月号



東京都内の感染症流行情報

出典：東京都感染症情報センター「東京都感染症発生動向調査週報」

第10週（2025年3月3日から3月9日）の定点あたり報告数

・感染性胃腸炎

東京都 12.71人/週（前週13.03人/週）

墨田区 9.80人/週（前週10.60人/週）

例年と比較して、**大きな流行**
を認めており、**警戒が必要です。**

東京都における感染性胃腸炎の定点あたり報告数の推移（昨年度と比較）



流行は小康状態です。

・インフルエンザ

東京都 1.84人/週（前週1.41人/週）

墨田区 1.00人/週（前週1.00人/週）

・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

東京都 2.80人/週（前週2.76人/週）

墨田区 3.38人/週（前週2.88人/週）

定点あたり報告数報告数
は横ばいで推移しています。

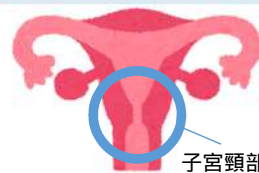
“HPVワクチン”について知ってください！

HPVって何？

HPV（**ヒトパピローマウイルス**）は、性経験のある女性であれば50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスです。子宮頸がんをはじめ、肛門がん、尖圭コンジローマ等、**多くの病気の発生に関わっています**。長い間ウイルスに感染した状態であると、子宮頸がんが発生すると考えられています。

子宮頸がんって何？

子宮の頸部という**子宮の出口に近い部分**にできるがんです。日本では毎年およそ1.1万人の女性がかかり、およそ2900人の女性が亡くなっています。患者さんは20代から増えはじめて、30歳代までにがんの治療で**子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も毎年およそ1000人います**。



子宮頸部（けいぶ）

HPVワクチンの効果



✓ ワクチンの種類によって幅がありますが子宮頸がんの原因ウイルスの**50～90%**を防ぐことができます



✓ 子宮頸がんの**前段階への変化を予防**することができます



✓ HPVワクチンを1万人が接種すると、接種しなかった場合に子宮頸がんになっていた**約70人**ががんにならなくてすみ、**約20人**の命が助かるという試算もある

HPVワクチンのリスク

HPVワクチンを接種すると、接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。まれに、アレルギー症状や神経症状などの重い症状が起きることもあります。HPVワクチン接種後に**重篤な症状が出現した頻度**は、**サーバリックス（2価ワクチン）**、**ガダーシル（4価ワクチン）**では1万人当たり約5人、**シルガード（9価ワクチン）**では1万人当たり約5人と報告されています。

ワクチンの安全性については、ワクチンに関する専門家の会議で、定期的に確認しています。

HPVワクチンの接種対象

対象	予防接種の種類	費用
小学6年生から高校1年生 相当年齢までの女性	定期接種	無料
1997年～2007年度生まれの 女性	キャッチアップ接種	無料 (2025年3月末まで)
男性	任意接種 (肛門がんや中喉頭がん、尖 圭コンジローマの予防効果が 期待されます)	3回接種で合計5～6万円程度 (費用の助成を行っている 自治体もあります)

2025年3月末までに接種を開始した方は、全3回の接種のうち、残りの接種についても2026年3月末まで公費で接種できることになりました。

接種方法など、区のHPVワクチン接種の詳細については墨田区のホームページをご覧ください。
か、墨田区の窓口にご相談ください。

さらに詳しい情報はこちらから



厚生労働省パンフレット
「HPVワクチンについて
知ってください」

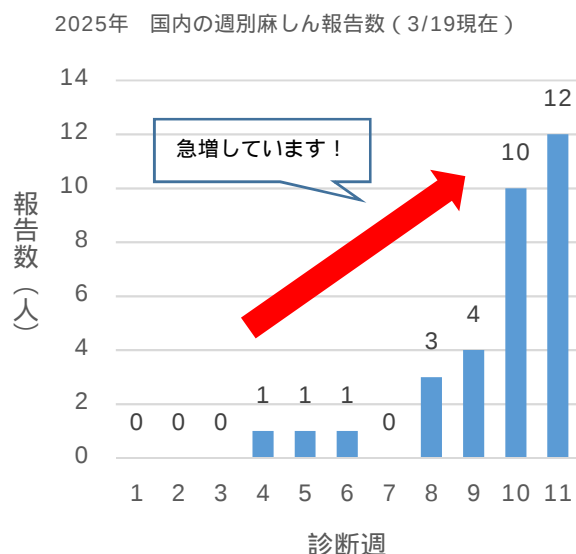


東京都
「はじめてのHPVワクチン」



墨田区役所HP「今だからこそ
予防できるガンがあります」

麻しんにご注意ください！



- ✓ 国内で麻しんの報告が相次いでいます。
- ✓ 麻しんの主な症状は発熱・発疹・咳・鼻汁・目の充血などです。
- ✓ 合併症として肺炎や脳炎があり、重症化すると死亡する可能性があります。
- ✓ 主な感染経路は空気感染で、非常に感染力が強いため、予防にはワクチン接種が有効です。
- ✓ 麻しんが疑われる症状がある場合はマスクを着け、事前に医療機関に電話連絡をしたうえで早めに受診してください。
- ✓ その際に麻疹患者との接触や渡航歴がある場合にはそのことを医療機関に伝えてください。
- ✓ また、登園、登校、出社等は控えてください。

このお知らせは、東京都感染症情報センター (<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>) の情報及び東京都健康安全研究センターが集計を行った「東京都感染症発生動向調査週報」(<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/epidinfo/epimenu.do>)、国立感染症研究所の「感染症発生動向調査(IDWR)速報グラフ」(<https://www.niid.go.jp/niid//images/idsc/disease/measles/2025pdf/meas2510.pdf>) の情報をもとに作成しています。